**2020年度　自己評価結果**

１．梅花幼稚園の教育目標

|  |
| --- |
| ・神を愛し、人を愛するこどもに  ・自立した個性豊かなこどもに  ・あそびを創り出せるこどもに |

２．2020年度、重点的に取り組む目標・計画

|  |
| --- |
| 「こころが満たされる」  ・子ども自身が好きな遊びを充分に楽しみ、更に考え工夫し、遊び込めるような環境をつくる。  ・同年齢のみならず、異年齢との関わりの中から、お互いを思いやり支え合う心を育む。  ・様々な体験を通して、一人ひとりが自信を持って自分を表現し、豊かに過ごせるよう励ます。  ・統合保育の中で、自分とは違う存在と出会い、互いに受け入れ合い育ち合っていくことを願い、関わる。 |

３．評価項目の達成および取り組み状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評 価 項 目 | 結果 | 取　組　状　況 |
| 教育課程・指導  保健管理  安全管理  特別支援教育  組織運営  研修（資質向上の取組）  教育目標・学校評価  情報提供  保護者・地域住民との連携  子育て支援  預かり保育  教育環境整備 | A  A  A  B  A  A  A  B  A  B  A  A | 梅花保育の原点に戻り、理念の再確認と保育活動の点検に取り組み、年齢に即した声のかけ方や関わり方の見直しを行った。  コロナ感染予防対策の徹底に努め、積極的に取り組んでいる。  日々行った。  家庭との連絡は、連絡ノートで密に行っている。  職員同士子どもの様子について話し合い、連携をとり保育を行っていくよう努力をしている。  オンライン研修会等に参加し学んでいる。  園内研修を行い、皆で共有し取り組んでいる。  常に教育理念に立ち返り、話し合いを深める。  園の保育を知っていただくため、ホームページ等を通し情報発信に工夫が必要である。  園に対しての希望など、アンケートを取り積極的に保護者の方からお聞きできるよう、連携を大切にすることに努めた。  計画を立てたが、コロナの感染状況に合わせ、入園に結びつくように行った。  保育後のゆったりとした時間を大切にしている。  コロナ禍であっても、子どもたちのあそびが豊かに安全に過ごせるよう、常に環境整備に努めている。 |

* + 評価結果の表示方法　 A：十分達成されている

B：達成されている

C：取り組まれているが成果が十分でない

D：取組が不十分である

４．学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

|  |  |
| --- | --- |
| 結　果 | 理　　　　　　　　　由 |
| A | ・子どもにとって、ふさわしい環境（人的、物的）となるため、日々努力を重ねている。  ・一人ひとりの個性を大切にし、子どもたちをより深く理解するため、保育者同士の連携を密にする努力を今後も努めていく。 |

５．今後取り組むべき課題

|  |  |
| --- | --- |
| 課　　　題 | 具　体　的　な　取　組　方　法 |
| ・研修（資質向上）  ・情報提供 | ・昨年に引き続き保育者の資質、子どもを見る目・力を更に豊かにするための学びを深め、保育の中で生かしていきたい。  ・今まで以上に、H･Pや保護者・地域の方との情報交換を通して、当園の特色、大切にしている保育について、知っていただけるよう工夫したい。 |